

上野中央通り商店会ガイド

2011年9月号

発行:東京文化会館事業企画課

東京文化会館モーニングコンサートは、上野中央通り商店会の方々のご協力により、2005年より継続してまいりました。めでた(50回を迎えることを記念し、Vol.44(2011年1月)より毎回1店舗を(今月のお店)として皆さまにご紹介しています。モーニングコンサートの後はぜひ、上野中央通りのお店にお立ち寄り下さい。

《今月のお店》 マスヤ (かばん専門店)

インタビューにお答え頂いたのは...

立見 文治 さん

マスヤ商事株式会社
専務取締役

所せましと並ぶバッグの中で特にご自慢の一品を見せて下さったのはマスヤ三代目の立見さん。バッグを作る職人さんの下に通いつめ、制作過程を熱心に学ばれているそう。この日もオリジナルバッグや素材の“革”について熱く語って下さいました。



- まずはじめに、「マスヤ」さんの歴史を教えてください。

私の祖父栄次郎が昭和9年に深川で酒屋をはじめ、後に上野の現在地に移転しました。戦後、その場所で父が婦人用品店を開き、昭和41年に今のタツミビルを建てて、バッグの販売を始めました。バッグを扱うようになってから今年で46年目になります。

- なぜ「マスヤ」といお名前に・・・？

もともと酒屋でしたので。昔はお酒を“枀”で測って売ってましたから、そこから取って「マスヤ」となりました。

- 本当にたくさんのバッグが販売されていますが、扱っている商品について教えてください。

上野という土地柄もあり、老若男女たくさんのお客様にご来店頂きます。幅広い年齢層に人気のレスポートサックはアメリカや韓国から並行輸入という独自のルートを取っているため、日本の直営店では扱っていないレアな商品もあります。「これはなかなか売れないだろう」と思う柄があっても、コレクターの方が探している

こともあるので、いろいろなデザインを幅広く取り入れるようにし、お客様からのリクエストがあれば、電話をして取り寄せたりもしています。

- そして「マスヤ」さんといえばオリジナル商品ですよね！

写真のトートバッグは、たくさんのオリジナルバッグを造ってもらっている職人・鷲頭(わしず)さんの手作りです。“いいものを安く”お客様に届けるため、パーツや革は、自分たちで調達し、それを職人さんのところでバッグにしてもらい、店頭で販売するという流れを作っています。自分の目で直接革を見ると「これをどのような商品にしたら素材を活かせるか」というインスピレーションが湧いてきます。将来的にはお客様の多岐にわたるご要望にお応えできるように、職人さんとさらに良い関係を築き、共により良いバッグを作っていきたいと考えています。

- 今後の展開についてお聞かせ下さい。

オリジナル商品やレスポートサックなどの人気商品の魅力をよりわかりやすくお伝えするため、8月にホームページをリニューアルしました。以前からインターネットでの販売も行っていますが、新装したホームページでは話題の“ツイッター”を取り入れ、限定の特典をご用意していきたいと考えています。他のお店のホームページなども研究し、力を入れていきたい分野です。

- 最後に9月おすすめ商品を教えてください。秋のお出かけにぴったりのパーキンタイプのバックがおすすめです。「マスヤ」こだわりのオリジナル商品をぜひ見に来て下さい。

【お店情報】 東京文化会館から徒歩5分

BAG HOUSE
MASUYA

このチラシをお持ちのお客様には
商品5%OFF 一部商品を除く

ホームページ <http://blog.masuya-bag.com/>

バッグ本店:台東区上野4-10-7 タツミビル1F
3832-3872(11:30-20:00/日・祝 11:00-20:00) 定休日/第3木曜日
インポートショップ店:台東区上野4-10-6 第2タツミビル1F・2F
3832-3871(11:30-20:00/日・祝 11:00-20:00) 定休日/第3木曜日

